

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部 「広場」

所沢市民大学修了者の会

広報紙

2015 年 6 月号 (第 84 号)



文化祭 混声コーラス 楽悠クラブ

第 4 回文化祭**“お祭り”を倶楽部発展の原動力に！**

倶楽部の“文化祭”が、5 月 29 日中央公民館で開催されました。

平成 27 年度 8 期は、新しく「活いきシニア福祉の会」(21 期)が発足し、20 サークル(音楽・文学・芸能分野 5 サークル、自然環境・歴史分野 6 サークル、地域の課題研究分野 9 サークル)の 283 名の会員数となりました。8 年目を迎え、研究、学習が深まり地域への活動にステップアップしているサークルもあり、またさらなる飛躍に向けて研鑽を積んでいるサークルもあります。倶楽部の各サークルの地道な活動が、シニア世代の団体として地域に根づき、影響力を徐々に発揮しています。年に一度のお祭り“文化祭”へ、約 170 名の皆様が参加されました。発表されたコーラスや朗読、活動報告、展示品等に感動いたしました。

新規の演目「シニア世代のファッションショー(サブタイトルの一度は言われてみたい“あのおじいさんカッコいい!”“あのおばさんステキ”)」では、埼玉大学の若者とのコラボレーションで、舞台と会場が一体となって、笑顔いっぱいの時間でした。今回は 4 サークルの活動紹介パネルも展示され、活動内容が一目瞭然でした。今年度は展示品鑑賞の時間が設けられ、ゆっくりと観ることができました。出展者の日頃の研鑽に感服いたしました。前日からの準備大変ありがとうございました。関係者の皆様にお礼申し上げます。

私たち会員は「和」をモットーに“お祭り”をところざわ倶楽部発展の原動力として、第 5 回目の開催へ向けて、共に活動してまいりましょう。

記 広報部 仲山富夫

素敵な仲間たち 文化祭に集う！

事業部 小原修一

ところざわ倶楽部主催の第4回文化祭が5月29日（金）に中央公民館にて開催され、展示部門と舞台部門において才能豊かな素敵な仲間達のご活躍により成功裏に終了いたしました。

“いきいき元気でハッピーになろう！”が今年のコンセプトフレーズで、その言葉どおりに参加された全ての方々が体现されたようです。

舞台部門のプログラムがMCお二人の軽妙洒脱なおしゃべりで始まり、最初に「楽悠クラブ&有志」によるピアノの連弾で幕が開き、混声コーラスと楽器演奏でお馴染みの曲が披露され、万雷の拍手が送られました。続いてシニア世代とヤング世代（埼玉大学の学生達）とのコラボレーションによるファッションショーが「所沢シニア世代地域デビュー支援の会」により行われ、カッコいいおじさんやステキなおばさんへ惜しみない拍手が送られていました。次に「ドラマティック・カンパニー」によりシェークスピアの重厚な作品の朗読劇が荘厳な雰囲気のか演じられ、多くの観客に感動を与えました。

4番目に「所沢の自然と農業」の清水仁一さんよ

り、サークルの活動状況報告がなされました。健康で楽しみながら学びと地域貢献を実践されている様子を分かり易くプレゼンされ、共感を得ていました。休憩後の幕開けは、「とことこバンド」によるハワイアン音楽をベースにした楽曲の歌と演奏に魅了されました。続いて「みんなで学ぼう認知症」による認知症予防のお口の体操と、とこちゃん体操を歯科衛生士の指導により、会場の皆様と一緒に、体を動かして学びました。最後の演目は、「懐かしの映画・鑑賞会」により和太鼓・元気に踊ろう！を合言葉に観客を巻き込んで元気な演奏と踊りでフィナーレを飾っていただきました。

一方、展示部門では写真・絵画・書道・生け花・陶芸・手芸・切り絵・工芸・俳句・サークル活動報告などのカテゴリ別の力作が展示され、素晴らしい作品を多くの方々に鑑賞していただきました。

このように素敵な仲間達が一堂に会してお互いに切磋琢磨できる活躍と交流の場である文化祭が毎年開催されていることを大変喜ばしく思います。



司会（杉浦正紀 佐藤美津子）



地域デビュー支援の会（深澤 満）



ハワイエ（受付・展示場）

＊公開文芸講座『歌舞伎と文楽』6～7月4回開催への募集受付は、定員に達しましたので終了させていただきました（5/25 現在）。ありがとうございました。

5 月度 理事会報告

総務部長 稲村 洋二

5月11日、第6回ところざわ倶楽部理事会が開催されました。議事内容は以下の通り。

（1）会長案件

＊倶楽部運営全般にかかわる“アンケートの提案・意見・感想覧のまとめ”について説明。

（2）総務部案件

＊アンケート調査の総務部案件について説明。アンケート結果にもとづいて、11月12日総会をミューズで開催することとした。総会の出席者が参加しやすいように、総会のあと懇親会を開催する。

＊5月26日（火）22期企画委員との懇談会を行う。

さんさん会、OB会も参加する。

＊ところざわ倶楽部会員名簿を配布。

（3）事業部案件

＊アンケート調査結果の事業部案件について説明。

＊5月29日の文化祭の進捗状況の説明。

＊文芸講座「古典芸能」について募集状況の説明。

＊秋の公開講座。斎藤陽一氏の「モネが発見した日本浮世絵との出会いと創造」。10月19日を予定。

（4）広報部案件

＊「広場」5月号の内容。6月号の編集案の説明。

写真で見る文化祭

広報部

第4回文化祭は、舞台演目7点、展示品8部門、4サークル活動紹介パネル等、昨年同様に、充実した内容で開催されました。この紙面では限りがありますが、何点かご紹介致します。

＊詳細はところざわ倶楽部HPでご覧下さい。

(敬称略)



文化祭看板 鳥田良彦



開会挨拶 事業部長 二上拓夫



楽悠クラブ 混声コーラス



シニア世代のファッションショー



ドラマティック・カンパニー朗読劇



サークル活動紹介パネル



展示品鑑賞



花器 岡本友子



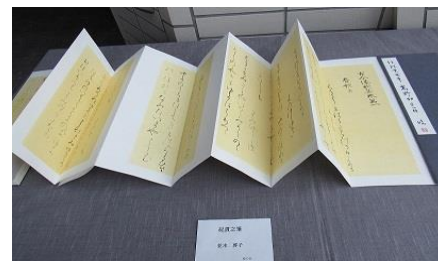
帆船模型 宮脇 正



写真 志村喜八



花さがし(手前) 山本苗子
バッグ(奥) 斉藤博子



書道 並木啓子



むさし野俳句会 短冊



小物入れ 小林富美子



能面(しかみ) 多胡國男

市民大学第 22 期企画委員と修了者の会 3 団体との懇談会①

5 月 26 日生涯学習推進センターで、市民大学 22 期企画委員と 3 団体との交流懇談会が開催されました。先ず市民大学 22 期 斉藤正武 企画委員長より 22 期の現状、そして 3 団体の会長より活動の説明がありました。今月は市民大学と 3 団体の現状を紹介します。7 月号では議論されたそれぞれの課題につき掲載していきます。

記 田中建夫

＜出席者＞ 敬称略

22 期企画委員） 委員長：斉藤正武

副委員長：村井弥亮（司会）、安田好子

委員：杉本哲雄 佐藤 滋 池上幹彦

渡部和哉

さんさん会） 会長：加曾利厚雄

副会長：小平佳子

OB 会） 会長：七井孝夫 副会長：笹川鎌一、

谷茂岡日出子

ところざわ倶楽部） 会長：畠田良彦、

総務部長：稲村洋二 広報部長：仲山富夫

副事業部長：田村健一郎

副総務部長：田中建夫

生涯学習センター） 山本裕之

その他、役員会や「この指とまれ！」式の活動



を行って
いる

募集は、
市民大学
にしかし
ませんが
友人知人

などの入会も可能です。この点では OB 会と異なっている。詳細は 7 月の説明会にて。

OB 会概要：七井会長

平成 10 年設立。会員は市民大学修了生に限定していて、一般者は現状受け入れていない。現在は 117 名。退会者も多い。

学びとレクの事業がある。

- （1）講座、講演会などの学び事業
- （2）花見、見学会、バス旅行、七福神めぐりなど趣味のレクリエーション事業

ところざわ倶楽部概要：畠田会長

市民大学 14 期生 90 名で設立。

主旨は「仲間づくりと学びを通じた地域貢献」のサークル主体の組織で、現在 20 サークル、283 名在籍。21 期生では 34 名入会している。22 期生に対しては、2 年次のテーマまたは新たなテーマで入会してほしいが、既存サークルへの入会もある。

倶楽部としてはサークル間の横串として、講演会、文化祭、講座などひとつのサークルで対応できないような事業を開催、また広報紙「広場」を年 11 回発行、対外への発信ツールとして HP も開設していて、さんさん会や OB 会の情報も都度掲載している。

＜各団体の概要説明＞

22 期修了予定者と市民大学の現状：

斉藤委員長

22 期入学者は 80 名であったが、2 年次に進んだのは 17 名減の 63 名である。準じて、1 年次の 8Gr は 2 年次では 7 Gr に減少して現在 62 名 が在籍し修了予定である。

23 期入学者 80 名は 6 月から授業開始。

応募者も 21 期 160 名、22 期 124 名、23 期 115 名と年々減少している。生涯学習としては是非継続してもらいたいものですが・・・。

さんさん会概要：加曾利会長

設立は 3 団体の中で最も古く、今年度 20 周年となる。20 期以降の会員は全体の約 40% を占めて新旧融合が進んでいる。

会の行事は全員で企画、実行する体制で、全員が横並びで活動している。また、男女がほぼ半々で、女性の意見が大いに反映される。

「戦後 70 年を振り返る」 シリーズ第 3 回

◆会員が歩んだ戦後の記録◆

敗戦直後の学校の記憶

楽悠クラブ 秦 行夫

敗戦の思い出

敗戦のラジオ放送(終戦の詔勅・玉音放送)を聞



いたのは集団学童疎開の地(宮城県瀬峰)でした。雑音があり、安岡正篤氏等の意見を汲み、迫水書記官長が纏めたとされる

文言は小学生には難しく理解出来ず、寮母さんに、戦争は負けたのだと教わり、呆然とした記憶がある。情報を客観的に得られれば、負けは当然だが、前日まで必勝を信じこまされ、元寇の時、神風が吹いて蒙古軍を撃退した様に、起死回生の展開が起きると信じていたのです。同行の先生は強烈な皇国史観の男性と、薙刀の師範で鬼畜米英を叫ぶ女の先生でした。

その後も、親元の受入れ態勢等の理由で、暫く現地におりまして、一度松島の見物にも行きました。ふかしたサツマイモを大切に食べた記憶があります。瑞巖寺の僧は、米兵が寺宝など欲しがるので、屋根裏に隠しているとかそっと話してくれました。星条旗の翻るホテルも見えました。

突然先生が東京に呼ばれ進駐軍による研修を受け、戻ってきた時は見事に豹変していました。財閥・軍閥が国を狂わせたと言われ、民主主義・自由・アメリカを礼賛です。欧州で成功したマーシャルプランに磨きをかけた洗脳教育が行われたと後日知りましたが、価値観の崩れゆく経験は、ものに二面性があり、一方的な礼賛・主張は疑う世代となりました。

学制改革と当時の学校

帰京(杉並区)しやがて六年生は程々平穏で、一

日裏高尾を訪ねましたが、著莪の咲く斜面に米機に撃墜された戦闘機の残骸が残っていました。そして六三三制と云う学制改革が実施され、新制中学の一期生ですが、学校の看板一枚と先生は居

られたが校舍無し。小学校の空き部屋・講堂の四隅などで始まり、旧制 10 中の体育館をベニヤ板で間仕切りした部屋で暫く過ごし、校舍が出来たのは二年近く後でした。

個性的だった先生

先生は色々でした。満鉄の技師・ヒロポン中毒の後遺症に苦しむ特攻隊の生き残り・労働運動で獄にいた者・南方で捕虜生活を過ごした者とかで、校長は“漢字は習得に時間がかかるから、今後ローマ字とすべき”とか主張するグループの人でした。それぞれに個性がありましたが、教育にかける気を感じたし、学びの空白から抜け貪る様に学ぶ日々でした。労働運動していた先生は、憲法 28 条など暗記させ熱く語り、国文法の先生は校長を冷笑し、満鉄の先生は飄々として、教室に爆音を響かせる実験をしてみせました。教師による体罰など日常茶飯事でしたが、生徒を殴る先生自身がポロポロ涙を流す姿は愛を感じさせました。そして教育委員会の指示等は全く無視し自身の信ずる方針を貫きました。試験の成績を全員掲示するとか現在では大問題でしょう。

戦後 70 年 現在の教育は？

リタイア後自治会を担当の際、小学校の運動会の徒競走で順位を付けず全員頑張ったから一等賞としたのを見ました。地球上には国があり、国境があり、国益が衝突し競争も起きます。みんな仲良しと云う教育は現実に対応できるのか危惧します。高校の時も未だ GHQ の指導する民主主義の教科書などありましたが、先生は全く無視して古代文明の話などしてくれました。今でも旧友と会い、あの頃の先生は良い教育をしてくれたと懐かしみます。実は弟のかみさんが教員です、教育委員会の指示に振り回されているのを見て、戦前の教育を思うこの頃です。

「出会い」シリーズ第2回 あの人との、あの事との出会い 一人一人のすばらしく貴重な人生の出会い

夫との出会いは山

新井 智子

多分夫のことを書くのはこれが初めてで後で書くことはないと思う。勧められて今回は書く気になりました。



夫との出会いは山です。「自然と歴史に親しむ会」という山の会がうん十年前にありまして、仕事の友達が誘ってくれ「山は

朝早いからダメ」と断ると「では俺は起きるのが早いので起こしてあげる」といわれ、5時頃電話で起こされ仕方なく山デビューを果たしました。まあそこにいたわけですよ、現在の夫が……。後に結婚が決まり、父が山の会の集合写真を見て「この男だろう。癖がなさそうだ」とピタリと当てたのが彼です。

私は埼玉県の小川町という田舎出身で、彼はその一山越えた隣の秩父生まれなんです。せっかく山から出てカッコイイ海男でも探そうかなと思っていた矢先、なぜ隣村の「タゴサク」と一緒になったのか。これなら村から一步も出ず、家で見合い写真を待っていれば楽勝だったのにと後に思いました。

私は友人が「無防備という鎧を着ている」と言うほど危なっかしい人間です。田舎者で人をすぐ信用して裏切られ泣いてばかりいました。その癖ちよい悪党が何だか好みという悪趣味。まあ、若い時の女の子という者はだいたいそうです。ところが彼は全く違うタイプで、まあ目立たない方かな？それなのに気がついたら結婚をしておりました。

何十年も暮らしていますが、たいしてケンカもせずに来れたのはおおらかな夫のおかげだと思います。私はこだわり派なのですが夫は何でも受け入れ派。執着せず全て自然体。グチはいいませんね。あの時置いてきぼりを食った「一人静」はまだ山で泣いているかもしれませんが、私は夫と一緒に慣れていつもゆったりと過ごせ「助けて」と言っても馬鹿にせずちゃんと対応してくれる人なのでとても救われています。出会いは選べるものとそうでないものがありますね。そして自分から選ぶものと、向うが選んでくれるものと。私の性格からいうと向うが選んでくれる方が楽か

出会った歴史と風土

山田 忠男

「出会い」というと、普通、人とか本、趣味、言葉など大きな影響を受けたものを連想しがちですが、へそ曲がりの私は「住んだ土地」について述べてみます。



生まれ落ちたのが神戸・須磨です。源氏物語須磨の巻の舞台であります。光源氏が「恋ひわびて泣く音にまがふ浦波は思ふ方より風や吹くらむ」

と詠んだ須磨の浦海岸は、瀬戸内の風光明媚に恵まれています。一方、平家物語では、平清盛が福原（神戸）に都を移し国際港を造った所でもあります。平家が義経らの源氏軍に一の谷で敗れたのは須磨であり、熊谷直実と平敦盛の悲劇があり、近くの須磨寺に数多くの平家の霊が祀られています。私は5歳以降、姫路より西にある造船の街、相生市で18歳まで過ごしました。姫路はいうまでもなく、世界遺産姫路城（白鷺城）の所在地で、昨年NHK大河ドラマ「黒田官兵衛」や司馬遼太郎「播磨灘物語」の舞台です。姫路城は官兵衛が中国攻めの秀吉に提供したといわれていますが、現在の城は江戸時代初期、池田輝政の築城したものです。昨夏、訪れたときには天守閣は平成の大修理が終わり、“白すぎ城”と揶揄されるほどの仕上がりぶりでした。姫路はまた、宮本百合子「播州平野」の舞台でもあります。相生市は、赤穂浪士47士で有名な赤穂市の隣にあり、かつては大石良雄の領地でありました。赤穂は塩の名産地であり、「塩味饅頭」という抹茶にあうお菓子が 있습니다。北東には、播州の小京都と呼ばれるたつの市があり、揖保乃糸、醤油の名産地です。大学時代4年間、京都で過ごしました。カネはないけれど時間だけはあつた生活でしたから、友とほつつき歩きました。1220年も続く都ですから、同じ場所に歴史や文化が重層的に詰まっており、何回行っても新しい発見があります。京都には1300程のお寺があり、それぞれ由緒があります。京都へ行かれる節は、声をかけて頂ければ案内できます。22歳以降、関東が主体ですが、数年間新潟・長岡市と新潟市に住んでいました。下戸の私は酒よりも、「コシヒカリ物語」にひかれました。

2 サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会(杉浦正紀 2949-5560)

6月18日(木) 「中国残留孤児の歴史と現状」について
お話とDVD観賞 中央公民館
7月16日(木) 定例会 13:30～16:30
中央公民館(詳細は後報にて)

傍聴席(高垣輝雄 2926-7164)

6月15日(月)学習会、14時～新所沢東公民館
テーマ：所沢市のごみ処理費用について会員からレクチャー
を受けます。処理量とコストの分析、他市比なぜ高いのか、ほ
か。詳細は倶楽部のHPをご覧ください。

5月地域の自然を考える会(広沢正己 2939-9181)

6月13日(土) 糎谷八幡湿地草刈り 8:00～
6月21日(日) 早稲田外来植物除去 9:30～ 13:00
6月23日(火) トロ12号地管理作業 10:00～12:00
6月27日(土) 糎谷八幡湿地蛍 観察 18:00～

地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117)

6月16日(火)定例会 9時～ 新所沢東公民館
5月23日に実施した公開シンポジウムの成果と反省点に
ついて話し合う。他、情報交換
7月21日(火)定例会 9時～予定

楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要)

6月9日(火) 中央公民館#8・9
13:15～15:15 藤田先生の講義「演奏表現と鑑賞」
15:30～17:00 全体会議「次年度の活動計画」
7月21日(火) 歌劇「カルメン」DVD 鑑賞と解説(七戸)

歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)

6月13日(土) 新井薬師梅松院から哲学堂公園へ
集合:9:00 所沢駅 2階改札内
7月12日(日)河越氏の盛衰と中世の歴史探訪(河越館跡)
集合:本川越駅、時間別途、※内容・月日を変更しています

北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)

第59回例会 6月27日(土)13時20分～
北欧の DVD鑑賞など 持ち寄り学習会
新所沢東公民館

地域の自然(宮脇 正 2939-2244)

6月13日(土) 9:00～12:30 早稲田大学B地区
林床植生調査 畑の整備
6月27日(土) 10:00～12:30 緑の森博物館
保全作業

所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835))

6月13日(土) 柳瀬公民館「麦刈り体験会」支援
6月27日(土) 柳瀬公民館「麦脱穀体験会」支援
7月9日(木) 定例会(13:00～新所沢公民館)
7月中旬 市民大学ファーム夏の収穫祭

ドラマティック・カンパニー(伊藤孝子 090-3402-2962)

6月6日(土)、6月20日(土)、7月4日(土)、7月18日(土)、何れも10:00～
12:00、会場は7月4日(中央公民館)を除き新所沢東公民館。シェイクスピア
の「ウインザーの陽気な女房たち」を読み進めます。シェイクスピアを楽しく深
く学べます。見学歓迎

葵の会(池田新八郎 2940-0711)

6月11日(木)13:30～16:00 中央公民館
古典講座「徒然草を読む」第5回
“心にうつりゆくよしな事”第5回講師:小川達雄先生
7月9日(木) 古典講座第6回

野老澤の歴史をたのしむ会(小倉洋一 2949-4695)

6月28日(日) 郷土美術館見学
集合 所沢駅改札口 10時10分
7月2日(木) 奥富園(抹茶工場)見学
詳細は後日

公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014)

6月25日(木):「加治丘陵散策」仏子駅南改札口9時30分
集合、旧サイクリングコース(現遊歩道)を歩
きます。
7月23日(木):「智光山公園」詳細別途連絡

ところ会(歴史を楽しむ野老会改め)(居田治 2903-8400)

6月19日:新選組のふるさと・甲州街道日野宿から
アジサイの咲く高幡不動尊へ
7月03日:忍城、古代蓮、さきたま古墳群をめぐる
8月28日:暑気払い

懐かしの映画・鑑賞会(二上拓夫 080-1250-6151)

6月23日(火)10時～12時30分 西新井町公民館
邦画「眠狂四郎・勝負」(64年)市川雷蔵・藤村志保
7月14日(火)10時～12時30分 西新井町公民館
時代劇「ひばりの捕物帳」(60年)里見浩太郎・藤田佳子

民話の会(仲山富夫 090-3902-0283)

6月12日(金)10時～12時30分
中央公民館 学習室1号
所沢の民話「福猫塚」「河童の佐び証文」読合わせ
7月17日(金) 中央公民館

食を通して所沢を知る会(岡部まさ子 2928-1868)

6月2日(火)9時より 於フラット調理室
スパイス料理作り
7月7日(火)10時より 出前講座
食と健康について

みんなで学ぼう認知症(本多義博 090-3144-1438)

6月22日(月)13:30～ 生涯学習推進センターにて
認知症予防に効果的なスパイスに関する講座
講師:武政三男先生(スパイスコーディネーター協会代表)

所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口元也 090-9820-5668)

6月9日(火)10:00～12:00「定例会」
議題 文化祭イベント反省会ほか
6月30日(火)10:00～12:00「定例会」
所沢市生涯学習推進センター 1F・102号室

活いきシニア福祉の会(佐藤重松 090-5412-5760)

6月24日(水)9:30～ 第8回定例会(地域包括ケアシ
テム等の学習) 生涯学習センター

【私の健康法 第26回】



趣味と健康



地域の自然を考える会 矢嶋 順一

中学に入り、部活をソフトテニスにしました。家が校庭の隣にあって、先輩たちが白いユニフォームを着て練習に励む姿が魅力的だったからです。高校でもテニス三昧でしたが大学ではテニス部に入りませんでした。就職後、実業団チームに入り厳しく鍛えられ、それが現在のテニスに大変役に立っています。

12歳で始めたソフトテニス歴は今年で65年目、年齢はあと3ヶ月で78歳になります。現在もシニアの日本選手権等各種の大会に出場していますが、脚力の低下を痛切に感じています。この年になると、試合では技術もさることながら、体力勝負です。衰えを少しでも遅らせなければなりません。幸い所沢には素晴らしいトレーニング場として航空公園があります。ランニングコースを走ったり、歩いたり、時には野球場の傍の40段の石段を10往復して800段の登り降り等を、無理は禁物ですので体調に合わせてやっています。昔は、冬は霜や雪でコートが使えない事が多くあり、春先のテニスの試合で足がよく動きませんでした。そこで、冬季の脚の鍛錬と称し22歳頃からスキーを始めたところ、春の足の動きが格段によくなりました。停年後も、元勤務先のOB有志でスキー愛好会を作り毎年滑りに行っています。スキーは今年で55年目となりました。

今年も私を含め何人かは妻同伴で、志賀高原、野沢温泉、蔵王温泉、北海道のニセコなどに行きました。気温はマイナスでも滑って大汗をかき、その後は温泉と飲み会です。

きっと身体と精神の健康に役立っているかも知れません。私の健康法は、趣味のテニス、スキー、時にはゴルフやトレッキング等好きな運動を永く続けられるように、平凡ですが、よく歩き、エスカレーターには乗らず階段を喜んで登り降り、体重を適度に保ち、寝る前にはコップ一杯の水を必ず飲み、少しだけストレッチをしてから、よく眠ることにしています。

ベランダにペンキを塗るやみどりの日
山のもの五感の騒ぐ五月かな
食卓は棚田千枚夏つばめ
房総の海膨らみて幟立つ
臥せし床上げて五月の風入れむ
一村を奔（はし）る水音や夏つばめ
忌の膳に花一輪や聖五月
平凡の非凡に優る母の日よ
橋桁をあはやに逸れて夏つばめ



海老澤愛之助
粕谷のぼる
鈴木 征子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇

分け入りし山は五色の緑かな
讃美歌の満つる会堂夏燕
日は西に甲斐は植田の水明り
班長は四年生なり夏燕
山国は軒下広し夏つばめ
五月晴祖父と乗り込む観覧車
籠りをればばら一片の便りかな
きびきびと開襟シャツの乗務員
いちめんの白き睡蓮ささめけり
旅すがらその日に遇ひぬ団扇撒

河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
利根川啓一
高光 泉
中嶋 弘子

むさし野俳句会（二十七年五月）作品抄



《編集後記》

▼昨年度、公開文芸講座「人間・正岡子規」を受講して、感動を得た。子規庵を訪ねた後、句集を買い求めて読み続けた。倶楽部に参加できたからこそ得た貴重な時間であった。かつて愛読した松尾芭蕉の『野ざらし紀行』の一節を新聞コラムで読んだ。なんと、以前には感じなかったことばに感銘させられてしまった。それは、こんな文言であった。「「ちちは汝を悪（にくむ）にあらじ、母は汝をうとむにあらじ。唯これ天にして、汝が性（さが）のつたなきをなけ」骨を野に晒すことも覚悟の旅の途中、芭蕉は川のほとりに3歳ほどの捨て子を見つける。哀れと思いつつも、引き取ることもできず、袂から食物を投げ、でも見捨て、立ち去らざるをえない。そんなおのが中途半端さに胸を掻きむしられるような場面が、どの人生にもある（折々のことば 鷺田精一 朝日新聞）」

文章を読み返したとき、かつて感じなかった言葉や場面が改めて印象に残った。なぜなんだろう。

▼サークル「アジア研究会」へ訪問させていただいた。皆さんの経験の豊かさに感服した。私は、自分の興味のあることのみで過ごしてきたことに反省させられた。また、自分の興味ある世界から出来上がった人生観を他人に押し付けていることに気づいた。▼第4回文化祭が賑やかに、楽しく開催された。会員の皆様の歌声や朗読や作品に感動した。一年ぶりにお会いした皆様と、お話しできたことに感激である。文化祭というイベントに参加することは、大切なことだと改めて思った。▼「出会い」ということは、楽しいことばかりでは無いが、そんな喜怒哀楽の人生に触れて己を磨くのだと思う。

今、私が「そうか」と思う言葉との出会いは、「本当に思っていることを、うまく書けない文章の方がときには文章として上である」現代詩作家 荒川洋治。

これからも、いろんな出会いがあるんだろうな。悩まずに、ポジティブに楽しみましょう。

記 仲山
「広場」問い合わせ 仲山富夫 090-3902-0283